

●ある日、地球のあちこちに、ドアがあらわれた
●どのドアも白く、ドアノブにはカギがかかって
●いた。
●学校の校庭、海の上、山の中、ドアはいたる所
●にちよこんと立っていた。
●かぎを作るプロがドアを開けようとしたが、ド
●アは開くことはなかった。
●「みさき！みさき、起きなさい！」
●母の声でみさきはねぼけまなこをこすりながら
●ベッドからはいでる。
●今日もいつもと変わらぬ一日が始まる。
●いつもと変わっているとすれば、それは私の家
●の庭にも、白いとびらがちよこんとあるだけ。
●みさきは、自分の部屋から出ようとして気づく
●自分の足下に、なにやらカギらしきものが、落
●ちているのだ。
●キレイ。みさきはすなおにそう思った。
●友達にじまんしようと、かぎに手をふれた。
●「バチ！」静電気よりも強いしやうげきがみさ
●きをおそう。そして、みさきの頭の中に、声が
●こだました。
●「・・・みさきさん、あ・たは行くのです。こ
●のカギを持って・・・へ・・・くのです。」
●「な、何？何て言ってるの？」
●それきり、辺りは静かになり、みさきの持って
●カギは不気味に青白く光をともし。

問 1 地球のあちこちにあらわれたのは（ ）
問 2 みさきがかぎにさわろうとしたら、どうな
ったか。